

文教委員会資料

所管事務の調査（視察）

「GIGA スクールについて」

資料1 GIGA スクール構想に基づく取組状況について 視察概要

資料2 かわさき GIGA スクール構想

資料3 かわさき GIGA スクール NEWS

資料4 「かわさき G I G A スクール構想」の取組

(Google for Education パートナー自治体プログラム)

資料5 校舎案内図

令和3年5月21日
教育委員会事務局

GIGA スクール構想に基づく取組状況 文教委員会視察概要

- 日 程 令和3年5月21日（金）10:00～11:30
- 場 所 川崎市立小杉小学校（長井典子 校長）
（中原区小杉町 2-295-1 電話 711-5553）
- 視 察 者 川崎市議会 文教委員会 12名

● スケジュール

- 10:00 特別活動室集合
- ・ 文教委員会開会
 - ・ 学校長挨拶
 - ・ 理事者より資料説明
 - ・ GIGA 端末の操作体験
- 10:35 移動・視察（3校時開始）
- ・ 3年1組 → 4年3組
 - ・ 5年2組 → 6年1組
- （※2グループに分かれて視察）
- 11:15 特別活動室へ移動
- ・ 質疑応答
- 11:30 文教委員会閉会

【本日の時程】

1	校	時	8時35分～9時20分
2	校	時	9時20分～10時05分
中	休	み	10時05分～10時35分
3	校	時	10時35分～11時20分
4	校	時	11時20分～12時05分
給	食		12時05分～12時50分
昼	休	み	12時50分～13時00分
5	校	時	13時00分～13時45分
6	校	時	13時45分～14時30分
帰	り	の	会 等 14時30分～14時45分

●小杉小学校児童数・学級数 616人・22学級（令和3年4月5日現在）

1学年	155人	5学級
2学年	114人	4学級
3学年	105人	3学級
4学年	91人	3学級
5学年	68人	2学級
6学年	74人	2学級
特別支援	9人	3学級
合 計	616人	22学級

- GIGA 端末導入時期：令和3年1月
- 教育情報化推進モデル校（令和2年度）



かわさき GIGA スクール構想

未来社会の創り手を育む かわさきの新しい教育

GIGA スクール構想とは



GIGA スクール構想とは、「Global and Innovation Gateway for All」の略で、Society5.0 時代に生きる子どもたちの未来を見据え、義務教育課程 1 人 1 台分の端末（P C やタブレット）及び市立学校の高速大容量の通信ネットワーク（校内無線 LAN）を一体的に整備することで、誰一人取り残すことのない、公正に個別最適化された学びを全国の学校現場で持続的に実現していこうとする取組です。令和元年 12 月、文部科学省より打ち出されました。

GIGA
スクール構想
プロモーション動画



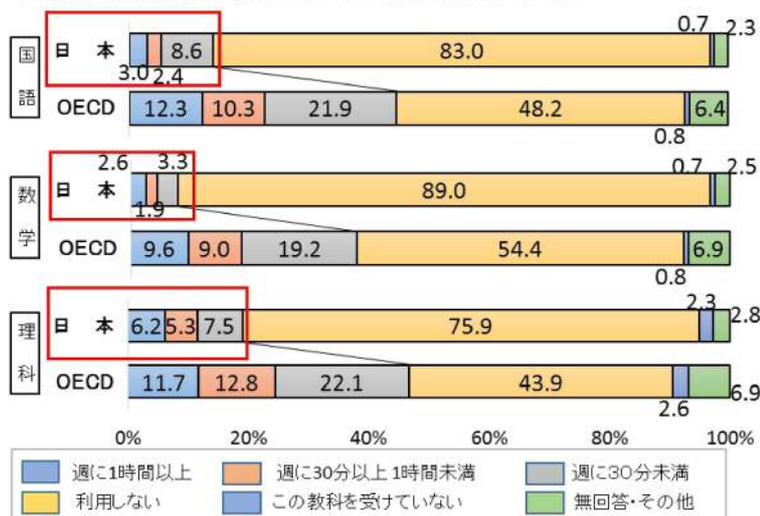
GIGA
スクール構想
文部科学省リーフレット



なぜ、GIGA スクール構想が打ち出されたのですか？

学校の授業で ICT を使う割合は、OECD 加盟国中最下位！

◆1週間のうち、教室の授業でデジタル機器を利用する時間



文部科学省「GIGA スクール構想の実現に向けて」 OECD 生徒の学習到達度調査より

日本は諸外国に比べて学習に ICT を活用していないということが、OECD 生徒の学習到達度調査（PISA2018）「ICT 活用調査」で明らかになりました。予測困難な時代を自律的に生き、社会の形成に参画するための資質・能力を一層確実に育成していくために、令和の時代における学校にとって 1 人 1 台分の端末環境は「スタンダード」として、GIGA スクール構想が打ち出されました。

新学習指導要領には、情報活用能力が「学習の基盤となる資質・能力」に位置付けられ、学校の ICT 環境整備と ICT を活用した学習活動の充実が明記されました。小・中・高等学校を通じたプログラミング教育の充実も示されています。



GIGA スクール構想の実現で何が変わりますか？

学校の ICT 環境が、劇的に変わります



川崎市は「未来社会の創り手を育む かわさき GIGA スクール構想」において、1 人 1 台分の端末・高速ネットワークを整備し、かわさき教育プランの基本理念である「夢や希望を抱いて生きがいのある人生を送るための礎を築く学び」を推進します。

ICT 環境が変わることで教育はどう変わるのか？ 変わらないものはあるのか？



次のページへ



かわさき GIGA スクール構想

未来社会の創り手を育む かわさきの新しい教育

かわさき GIGA スクール構想では、インターネットに**つながる**中で、個別学習でも協働学習でも一斉学習でも、クラウドによって学びを蓄積したり、双方向の学びを可能にしたりすることによって、かわさき教育プランの基本目標である「**自主・自立**」「**共生・協働**」を推進します。既習と**つながる**、他教科と**つながる**、他者と**つながる**…「**つながる**」をキーワードに、「情報活用能力」を基盤として、ステップ1、ステップ2、ステップ3と段階的に学びを変容させていきます。1人1台分の端末を通して様々な人・もの・こと**つながる**中で、未来社会の創り手となる子どもたちに必要な力が育まれていきます。

使用する端末は、使いやすさに合わせて、小・中学校（特別支援学級を含む）がChromebook、特別支援学校がiPadです。どちらもクラウドサービスであるG Suite for Educationを活用します。

G Suite For Education

つながる機能がいっぱい

クラスルーム ドライブ ミート ドキュメント フォーム



他にもインターネット検索、カメラやQRコード読み取り等、様々な機能で子どもの学びをサポート。起動がとても速く、スムーズに学習ができる。

教育プラットフォームに導入するコンテンツ

様々なコンテンツがシングルサインオン
1つのIDとパスワードで様々なコンテンツが利用可能

【授業支援コンテンツ】
児童生徒が画面を共有して協働学習が可能
教材配付・回収が簡単に行える。

【新学習指導要領に対応のドリルコンテンツ】
毎日の「繰り返し学習」や「家庭学習」を自分のペースで学習ができる。
自動採点機能があり、先生の負担が減る。

こんなことはありませんか…GIGAで解決できるかも

①大量のノートのチェックや、ドリルの採点…とにかく時間がかかる…。

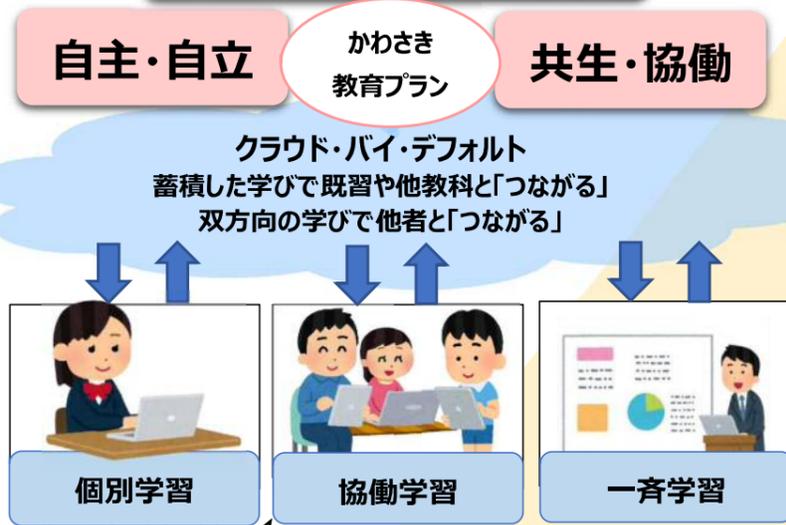
②発言する子の考えしか見取れない。他の子たちの考えは…。

③前回使ったプリントを忘れてしまって授業に参加できない子がいる…。



①②③はどのように解決されるのか…。リーフレットから探し出してみてください。

キーワードは「つながる」



校務や研修にも活用できる働き方改革にもつながる

ノートを集めなくても教師用端末で子どもたちの学びをいつでも確認できる。クラウドに保存したデータを教職員間で共有したり、自動採点機能を活用したりして、校務の効率化を図る。オンラインで研修もできる。

小・中学校の1人1台分の端末は **Chromebook**



ステップ2 既習や他者とつながることで、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善ができ、資質・能力をより確実に育成する

<p>主 クラウドに蓄積した自らの学習状況を振り返り、見直しをもったり、次の学習につなげたりする。</p> <p>例えば… 外国語 発表の様子を録音し、再生して確認することで、自分の発話を客観的に振り返り次の学習における見直しや目標設定をする。</p>	<p>対 クラウドを通して、子ども同士の対話が活性化し、教職員や地域の人、先哲との対話が容易になり、自らの考えを広げ深める。</p> <p>美術 制作の過程で作品を共有し、感じたことや考えたことを伝え合い、考えを深め、さらに自分の作品をよりよくしようと試行錯誤する。</p>	<p>深 クラウドに蓄積した学びをもとに知識を相互に関係付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したりする。</p> <p>理科 観察、実験を動画等で記録することで、繰り返し拡大したりしながら、現象を科学的に分析し、既習や他者の記録や考えと比較して、考察を深める。</p>	<p>即時的に見取り、形成的評価ができる</p> <p>モニタリング機能により一人一人の考えを即時に見取り、形成的評価ができる。また、クラウド上で教科、単元、日付ごとに整理された子どもの学びや評価したことを振り返って、総括的評価や授業改善に役立てられる。</p>
---	--	--	---

詳しくは「教育の情報化に関する手引き」令和元年12月文部科学省

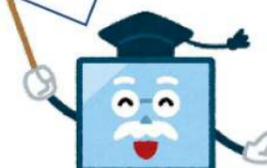


ステップ1 インターネットにつながることで、「いつでも」「どの教科でも」使えることを実感する

検索サイトを活用した調べ学習ができる	文章やプレゼンテーションの作成ができる	一斉学習の場面でも双方向の学びができる	自分のペースに応じた個別学習ができる	いつでもどこでも学ぶことができる
Googleの検索サイトでインターネット検索し、新聞記事や動画等を収集・整理する。情報はクラウドに保存し、いつでも必要なとき取り出せる。	ドキュメントで自分自身の考えをまとめたり、スライドでプレゼンテーションを作成したりする。共同編集し、リアルタイムで考えを共有しながら学び合う。	イメージがもちやすくなるようデジタル教材を提示する。(大型テレビだけでなく個々の端末にも提示)授業支援コンテンツで一人一人の反応や考えを即時に把握しながら、双方向に授業を進める。	ドリルコンテンツを活用し個別学習をする。即時に採点されるので、自分のペースで学習でき、先生は進捗状況を確認することができる。多様な子どもたちに対してよりきめ細やかな対応を行う。	臨時休業中のオンライン指導によって学習保障や子どもたち一人一人の健康状態の把握、心のケアを行う。

学習の基盤となる情報活用能力

ICT環境は変わっても、「主体的・対話的で深い学び」や個に応じたきめ細やかな指導など、これまでの教育実践で大切にしてきたことは何ら変わらないことがわかりました。ICTをベストミックスさせることで、さらに授業改善を図ることができ、新しい教育が創造できます。業務も効率化できて、教材研究の時間も増えそうです。子どもたちと一緒に「かわさきGIGAスクール構想」を実現できるのが楽しみです！





特別支援学校に導入される端末にはどのような機能がありますか？

特別支援学校には、より個別最適化された学びができる iPad が導入されます。合理的配慮に対応したアプリが豊富です。G suite for Education も活用できます。

子どもたちが使いやすい機能やアプリがいっぱい



- ◎プレゼンテーションや文書の作成
- ◎動画や音楽の簡易編集
- ◎双方向のオンライン指導 等

特別支援学校の
1人1台分の端末は
iPad

持ち運びしやすいハンドル付の
衝撃に強いケース付き



1人1台分の端末は、どのように学校に整備されるのですか？

【ネットワーク整備】



2週間程度で、教室等に無線アクセスポイントや固定の充電保管庫の設置

調査・設計

工事開始

工事完了

令和2年度

8月

9月

11月

3月

令和3年度

【端末導入】



入札・契約

導入・動作確認

稼働

ネットワーク工事が完了したところから、順次端末を導入



各学校で GIGA スクール構想をどのように推進していけばよいでしょうか？

GIGA スクール構想推進教師（仮称）

令和3年度より各学校で GIGA スクール構想を中心となって推進していく教師を校内で1人選出していただきます。GIGA スクール構想に関する研修を受け、ICT 教育に対する知識・技能を身に付け、他校と情報交換しながら、「未来社会の創り手を育むかわさきの新しい教育」としての「かわさき GIGA スクール構想」をリードし、活躍が期待される教師です。

「かわさき GIGA スクール構想」を校内で推進し、学校全体の授業改善を図ろうとする方が適任です。ICT 機器の管理をする役割ではないので、ICT 機器に詳しくなくても大丈夫です。

各学校への導入のサポート



- ◎ **GIGA スクールサポーター**
…端末が保管庫に設置され、使用できるまでの学校サポートを行う。
- ◎ **ICT 支援員**
…端末の授業での使用方法などの研修等を行う。

「かわさき GIGA スクール構想」のお問い合わせはこちらへ



全般に関すること……………情報・視聴覚センター
各教科等の学びに関すること……………カリキュラムセンター
個に応じた支援に関すること……………指導課・特別支援教育センター
不登校等に関すること……………教育相談センター
かわさき教育プランに関すること……………教育政策室
学校運営支援に関すること……………区・教育担当



かわさき GIGA スクール NEWS

予測困難な時代を生きる力を育む かわさきの新しい教育
No.1 令和2年11月6日 川崎市総合教育センター 情報・視聴覚センター

川崎市は「予測困難な時代を生きる力を育む かわさき GIGA スクール構想」として「夢や希望を抱いて生きがいのある人生を送るための礎を築く学び」の実現に向け、令和2年度中に市立学校の高速大容量の通信ネットワーク及び義務教育課程1人1台分のコンピュータ端末を整備し、子どもたちの学びの質の向上を図ります。今、教育現場ではどのようなことが行われているのか、先生、保護者のみならず、市民の皆様にも、その取組を広く知っていただきたく、「かわさき GIGA スクール NEWS」を発行いたします。



GIGA スクール構想…みんなに知ってもらいたい！



令和元年12月に文部科学省より打ち出された「GIGA スクール構想」。「GIGA」とは、「Global and Innovation Gateway for All」の略で、義務教育課程1人1台分のコンピュータ端末及び市立学校の高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、誰一人取り残すことのない、公正に個別最適化された学びを全国の学校現場で持続的に実現していこうとする取組です。川崎市でも着々と準備を進めているところです。

川崎市が目指す「GIGA スクール構想」について、各学校にリーフレットを配付しました。市民の皆様にも知って

ただごと、この「かわさき GIGA スクール NEWS」とともに市の教育委員会内ホームページに新設した「かわさき GIGA スクール構想」の特集ページに掲載しています。今後も、この特集ページを通じて、刻々と変わる GIGA スクール構想への川崎市の取組を、お知らせしていきます。どうぞよろしくお願いいたします。

義務教育課程1人1台分の端末はこれだ！

小・中学校の Chromebook



特別支援学校の iPad



どちらの端末もクラウドサービスである G Suite for Education を活用します。小・中学校の Chromebook には、授業支援コンテンツとドリルコンテンツを含んだ(株)ベネッセコーポレーションの「ミライシード」というアプリを導入します。特別支援学校の iPad は、持ち運びがしやすいケース付きです。アプリも充実しています。

「かわさき GIGA スクール構想」で、未来社会の創り手となる子どもの育成に向けた各学校のアップデートが始まります。1人1台分の端末・高速ネットワークで、どのような学びが展開できるか、考えるとワクワクしてきます！



かわさき GIGA スクール NEWS

予測困難な時代を生きる力を育む かわさきの新しい教育

No.2 令和3年3月18日 川崎市総合教育センター 情報・視聴覚センター

市立学校の高速大容量の通信ネットワーク及び義務教育課程1人1台分のコンピュータ端末の整備が各学校で行われています。また、その整備とともに、教職員への研修も実施されています。

「かわさき GIGA スクール構想」 着々と準備が進んでいます！



びっしりと並んだコンピュータ端末。各教室に充電保管庫が固着され、そこへ1人1台分の端末が保管されています。子どもたちはここから端末を取り出して使用し、下校前に戻して充電をします。各教室にはアクセスポイントが設置され、Wi-Fi環境が整います。



教育委員会の職員や各学校の教職員も研修を行っています。11月から2月にかけて Google 合同会社の協力のもと、Chromebook を活用した「Google for Education」の研修を行い、約1000人の教職員が受講をしました。また、(株)ベネッセコーポレーションの方を講師に招き、授業支援ソフト「ミライシード」の研修も行いました。さらに、2月には、各学校から1名の教職員が集まって、「かわさき GIGA スクール構想」の説明会を行いました。

川崎市総合教育センターでは、GIGA スクール構想の研究を行っています！

ICT 活用研究会議

児童生徒が授業でコンピュータ端末を最大限活用できるように、最初に何をすればよいか。「初期指導」について、研究をしました。

特別支援教育研究会議

個別最適な学びの実現に向けて、どのようにコンピュータ端末を活用すればよいかについて研究をしました。

令和3年1月27日(水)に総合教育センター研究報告会を行いました。

令和3年3月26日



「かわさきGIGAスクール構想」の取組として Google for Education パートナー自治体プログラムに参画します！

「かわさき GIGA スクール構想」では、令和2年度中に市立小中学校の全児童生徒に1人1台端末（Chromebook™）を配備し、令和3年度からクラウド型学習プラットフォーム Google for Education™ を活用した学びの提供を進めていきます。

本取組を一層推進するため、本日付けで、Google が提供する「Google for Education パートナー自治体プログラム」に参画するとともに、Google により事例紹介動画を作成していただきました。

■Google for Education パートナー自治体プログラムの概要

Google が自治体・教育委員会向けに提供しているプログラムで、本プログラムの参画により、**デバイスやツールの操作方法から授業での展開方法のトレーニングの他、研修プログラムの提供まで、包括的なコンテンツと中・長期的なサポートを受けることができます**とともに、**先進事例の情報共有等ができます**。

【パートナー自治体プログラムの役割】

内容項目	川崎市教育委員会	Google
デジタルスキル トレーニング	トレーニングの選択、受講者の選定、日程設定などのプランニング	トレーニングコンテンツの提供などトレーニング実施に必要なサポートを無償で行う
インターネット リテラシー教育	学校への周知、および当該授業実施校の取りまとめ	中学・高校の授業で使える授業パッケージの提供
イベント開催などを 通じた事例共有	イベント開催をはじめ、積極的に事例共有を行い全国の ICT 化をリードする	全国各地のパートナー自治体の先進事例の共有を行う
ICT モデル校の設置	Chromebook や Google for Education ツールを積極的に活用し、Google for Education 事例校の設置を目指す	Google for Education 事例校の認定に必要な基準に達するよう、授業計画や活用事例の共有

■Google による事例紹介動画

「かわさき GIGA スクール構想」の推進により、学校教育が大きく変容していくことを学校のみならず市民の皆様にも周知するため、**事例紹介動画を作成しました**。

動画は、本日から下記 URL から視聴できます。また、今後は、川崎駅東口駅前広場デジタルサイネージ型広告塔やアゼリアビジョン等各種媒体も活用し、広報していきます。



川崎市教育委員会 HP URL : <https://www.city.kawasaki.jp/880/page/0000127403.html>

内容 (約5分)

- ・市長、教育長、現場の教員に対しインタビューを実施し、GIGA スクール構想より教育が変わっていくことへの思い等をまとめました
- ・1人1台端末を子どもに渡している様子
(撮影場所：旭町小学校、南河原中学校) など



■パートナー自治体プログラム参画後の主な取組

- ・令和3年4月～ Google for Education 事例校を目指したモデル校の設置

【内容】

- ・Google for Education 事例校となるような ICT 活用のモデル校を設置し、Google for Education 認定教育者の育成や授業での ICT 活用を特に促進する

※Google for Education 事例校は、Chromebook を児童生徒・教職員が活用し、その効果や活用方法を共有することができる学校を紹介する Google によるプログラム。登録校は Google for Education 公式ウェブサイト内に学校一覧として掲載されます。

中学校向けインターネットリテラシー研修の実施

【内容】

- ・最新のインターネットリテラシーの基礎知識と体験談を学ぶ

※上記のほか、人材交流などの取組を順次進めていきます。

※Google for Education に関する詳細は下記もご参照ください。

URL : <https://edu.google.com/intl/ja/>

■かわさき GIGA スクール構想に基づく取組実績（主なもの）

- ・令和2年3月補正予算 校内情報ネットワーク環境の整備（校内 LAN 整備）について計上その後、順次整備開始
- ・令和2年6月補正予算 1人1台端末（全児童生徒・教職員 約117,000台）、モバイルルータ（約5,000台）の調達について計上その後、校内ネットワークが整った学校から順次配備開始
- ・令和2年11月～ 教職員向け研修「Kickstart Program」の実施

【内容】

- ①Google ソリューションを活用して“できること”を理解する
 - ②Google ソリューションの授業での操作方法を習得する
 - ③Google ソリューションを活用した授業実践の基礎を理解する
- ※Google から無償でパートナー講師を派遣いただき、これまでに9回実施延べ約1,000人が参加

- ・令和3年3月 1人1台端末の配備及び校内 LAN の整備完了
- ・令和3年4月～ 全児童・生徒が Google for Education アカウントを利用開始
1人1台端末を活用した学習がスタート

【問合せ先】

川崎市教育委員会事務局教育政策室 二瓶
電話 044-200-3307

小杉小学校 校舎案内図

